

圧巻の走りでも連勝を達成!

スマートファルコン号帝王賞優勝

6月29日、大井競馬場で開催された「第34回 帝王賞」(JpnI ダート2000m)を岡田スタッド生産のスマートファルコン号(牡6歳 父ゴールドアリュール 母ケイシユウハープ)が、自身の持てるスピードを遺憾なく発揮し、優勝を果たしました。

レースは、6番ゲートから勢い良く飛び出したスマートファルコンが、スピードを活かして先頭に立つと、第1コーナーでは、それに続いて、マグニフィカ、エスポワールシチー、バーディバーディの4頭で早くも先頭集団を形成。そのまま位置取りは変わらずレースは流れたものの、第3コーナーでマグニフィカが後退、エスポワールシチーが単独の2番手。第4コーナーでは、そのエスポワールシチーの佐藤哲三騎手が、先頭に並ぼうと肩ムチを一発入れ、気合いをつけはじめたのも束の間、スマートファルコンは、馬なりのまま3馬身突き放し、そのまま差は開き続け、2着エスポワールシチーに9馬身差での圧勝となりました。

昨年从今年にかけて、JBCクラシック、東京大賞典のJpnI2勝を含む濃い内容で4連勝中だったスマートファルコン。どのレースもスマートファルコンの速さと強さが際立つレースばかりで、この日も単勝オッズ1.2倍とファンからも圧倒的な支持を受け、その期待を裏切ることなく、スマートファルコンらしい最高のパフォーマンスで見事5連勝目を飾りました。

今後は、9月23日、船橋競馬場で開催される日本テレビ盃(JpnIIダート1800m)が予定されています。秋にはまた、スマートファルコンが競馬場で強い走りを見せてくれることを今から期待しています。



全国的に珍しい作付体系を視察

静内そ菜振興会ミニトマト部会視察研修受け入れ

7月1日、静内そ菜振興会ミニトマト部会(部会長 中道雅則 部会員37名)では、JA苫前町とJA南るもいのミニトマト生産者から構成される留萌管内広域ミニトマト生産者協議会、JA職員や各農業関係者の参加者28名の視察受け入れを行いました。

この日、視察研修の受け入れ先となったのは、本沢地区の中道雅則氏圃場と豊畑地区の榊豊穂圃場の2箇所。参加者全員が、各圃場の施設、玉の出来や葉の状態など熱心に見学を行いました。

当部会では、冬の積雪量の少なさ、夏が冷涼であるという日高地方特有の気候を活かした作付体系が確立されており、2月〜3月に定植を行う促成栽培、4月〜5月に定植を行う半促成栽培、7月に定植を行う抑制栽培という3タイプに分類される全国的にも珍しい作付体系となっています。

この全国的にも珍しく、静内地区を全道でもトップクラスのミニトマト産地に押し上げる原動力となっているこの作付体系についても熱心に多くの質問、意見が交わされていました。



熱心な質問に答える中道雅則部会長。



選果場の視察も行われました。